

日本泌尿器科学会

第 205 回 熊本地方会プログラム

日時：令和 5 年 3 月 18 日（土）

時間：15 時 00 分～17 時 40 分

会場：ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

1 階 「若草」

住所：熊本市中央区東阿弥陀寺町 2 番地

<補足>

- ◇ 1 演題につき口演時間は 7 分・討論時間は 3 分です。
- ◇ 発表形式は Windows Power Point 限定です。
- ◇ Mac など PC を持参される場合は、各自専用コード・出力端子用アダプタをご準備下さい。
- ◇ 発表データは USB メモリに保存し受付にご提出下さい。
- ◇ 会員カードを必ずご持参下さい。

- ◇ (研修医を除く) 地方会非会員の先生は、参加費 3,000 円を徴収します。
- ◇ 後日、熊本大学泌尿器科ホームページで演題の PDF を公開いたしますので、体調不安等ございましたら、無理なさらぬようお願いいたします。

◆ セッション 1 (15 時 00 分～16 時 10 分)

座長：渡邊 紳一郎

(済生会熊本病院)

1. フマル酸ヒドラターゼ(FH)欠損腎細胞癌の 1 例
眞鍋 笙之介、元島 崇信、脊川 卓也、倉橋 竜磨、村上 洋嗣、
矢津田 旬二、杉山 豊、神波 大己 (熊本大学病院)
久高 麗鷹 (熊本市民病院)
2. 当院における XCAVATOR を用いた接触式レーザー前立腺蒸散術 (CVP) の治療成績
川野 尚、後藤 新吾、川野 四郎 (川野病院)
中神 正巳 (西日本病院)、池田 和義 (いけだ泌尿器科内科クリニック)
3. Pembrolizumab + Lenvatinib 療法中に irAE を発症し難渋した腎細胞癌の 1 例
今藤 淳之助、中村 圭輔、宮本 豊 (熊本労災病院)
4. 下部尿管癌に対する尿管部分切除術の検討
浮池 昌二郎、濱田 真輔、上川 彩乃、今川 大輔、
原 一正、濱田 泰之 (熊本中央病院)
5. 当院における前立腺肉腫の 1 例
牧野 耕、渡邊 崇、東 俊之介、村上 栄敏、山中 達郎、鮫島 智洋、
銘苅 晋吾、前田 喜寛、菊川 浩明 (熊本医療センター)
川野 尚、後藤 新吾 (川野病院)
6. 超音波内視鏡下骨盤内リンパ節生検で診断に至った前立腺癌リンパ節転移の一例
久高 麗鷹、村上 道洋、里地 葉、桑原 朋広 (熊本市民病院)

7. 膀胱に発生した炎症性筋線維芽細胞性腫瘍の一例の経験から、患者に過度な不安を与えない悪性腫瘍の十分な説明方法を考察する。

中熊 健介、山中 広太郎（人吉医療センター）

<<< 休憩（16時10分～16時20分） >>>

◆ セッション2（16時20分～17時30分）

座長：稲留 彰人

（熊本赤十字病院）

8. 前立腺小細胞癌に対してロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘出術を施行した一例
石崎 宏志、尾崎 陽二郎、濱崎 和代、冨永 成一郎、占部 裕巳、
三上 洋、福井 秀幸、渡邊 紳一郎（済生会熊本病院）
9. 小児VUR根治術後における合併症の検討
村上 道洋、里地 葉、久高 麗鷹、桑原 朋広（熊本市民病院）
10. 当院における単腎患者に対してロボット支援腹腔鏡下腎部分切除（RAPN）を実施した症例
山村 智子、尾崎 陽二郎、石崎 宏志、濱崎 和代、冨永 成一郎、占部 裕巳、
三上 洋、福井 秀幸、渡邊 紳一郎（済生会熊本病院）
11. 扁平上皮癌を伴った腎角化性扁平上皮化生の一例
松原 顕太、笹岡 祐次、近浦 慶太、山口 隆大（くまもと県北病院）
12. 回腸導管造設術後の傍ストーマヘルニア嵌頓にて腸管穿孔を起こした1例
黒田 庄一郎、三浦 太郎、岩下 仁（水俣市立総合医療センター）

1 3. ロボット支援下腹腔鏡下前立腺全摘後の膀胱尿道吻合部狭窄に対する深部側方切開を
施行した1例

二口 芳樹、岡 保伸、川上 茂生（熊本総合病院）
本多 次朗（本多医院）、高橋 渡（健軍熊本泌尿器科）
渡邊 紳一郎（済生会熊本病院）

1 4. 離島を含む僻地病院にて腹膜透析を促進する為のカテーテル挿入術の変更

西 一彦（上天草総合病院）、杉山 豊（熊本大学病院）
城野 英利（上天草総合病院 外科）

<<< 2022 年 会計報告（17 時 30 分～17 時 40 分） >>>

矢津田 旬二（熊本大学病院）

◆熊本地方会参加単位登録の手順

～参加受付から参加単位登録までの流れ～

（※受付には、日本泌尿器科学会の「会員カード」が必要です。）

- 1) 受付にて参加受付を行う。
- 2) 参加証を受け取り、記名欄に名前を記入する。
- 3) 「会員カード」の QR コードをハンディターミナルで読み取ってもらう。

※「会員カード」をお持ちでない場合は、参加証の原本をご自身の専門医（初回・更新）認定申請時期まで保管し、申請書類に貼付して下さい。会員カードを作製されていない方は、日本泌尿器科学会 WEB サイトの「よくあるご質問」ページ (<http://www.urol.or.jp/other/faq.html>) より、「Q. 初めて会員カードを作製するには…」をお読み下さい。また、参加証は、後日 WEB 上で単位が確認できるまで（約3カ月程度）は大切に保管して下さい。その他、ご質問(単位登録に関する質問も含む)は、日本泌尿器科学会へお問い合わせ下さい。(TEL：03-3814-7921)